

産業界が求める 大学の研究力強化について

2012年10月24日

三菱電機株式会社常任顧問

久間 和生

【前提】

- ◆ 大学の研究は未来への投資、知的財産の創出
- ◆ 社会への還元というベクトルは同じ
- ◆ 大学の研究と企業の研究の役割分担
- ◆ ダイナミックな連携によるシナジー効果
- ◆ イノベーションの種の量産
- ◆ 産学官連携のパラダイムシフト

【内 容】

1. 研究開発と産業競争力について
2. 大学の研究力強化のための政策の視点について
【政策への期待】
3. 産業競争力向上に資する大学の研究力強化に向けて
【大学への期待】

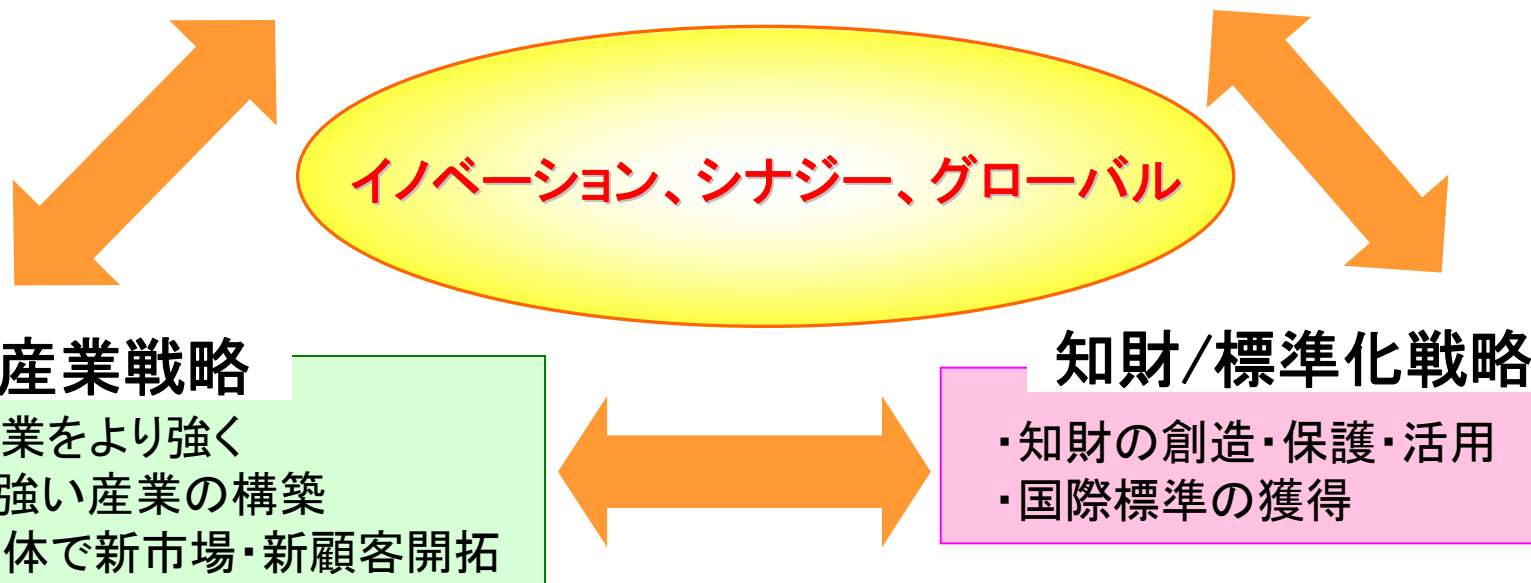
1. 研究開発と産業競争力について

1. 研究開発と産業競争力について

【研究開発・産業・知財/標準化の三位一体の戦略】

研究開発戦略

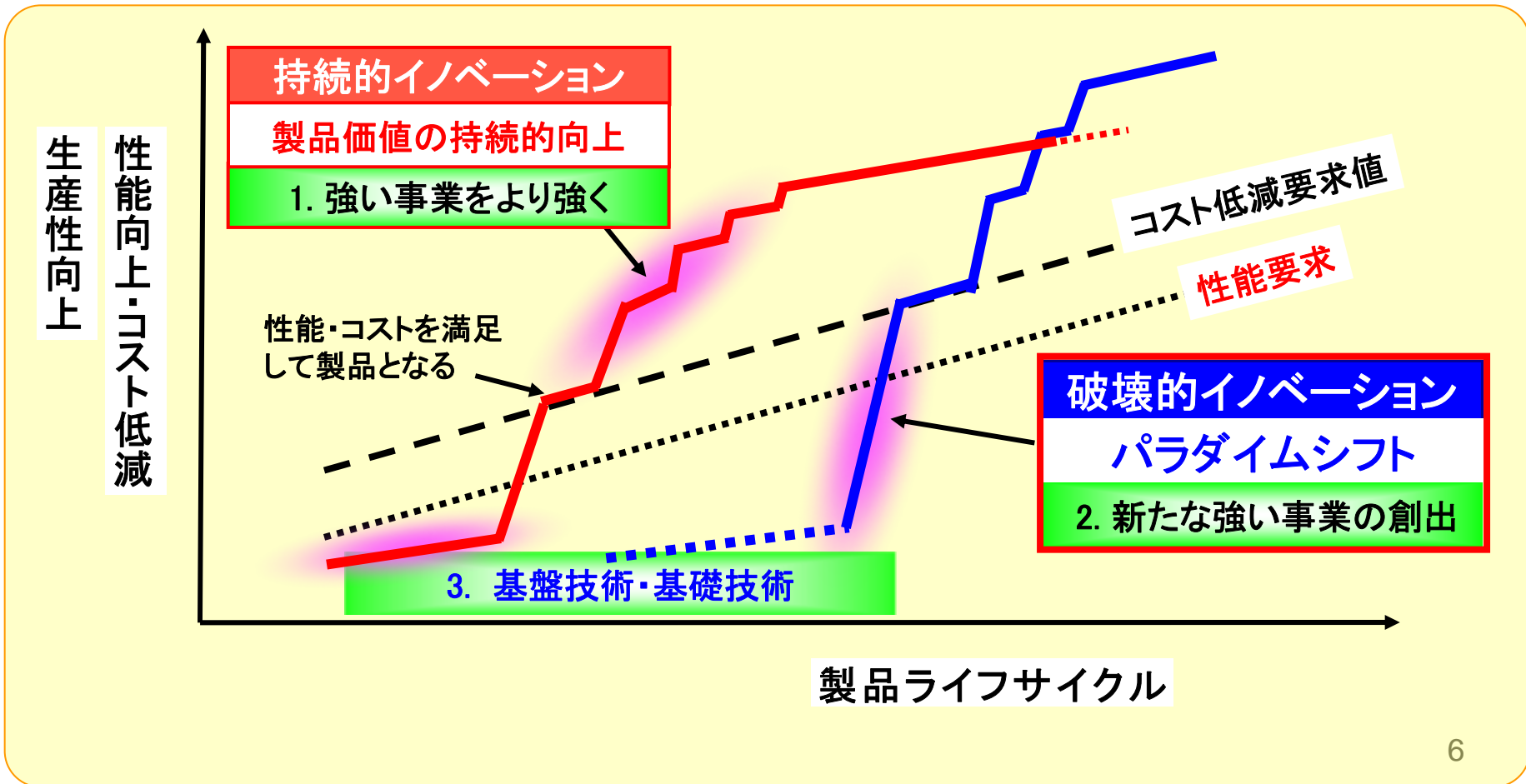
- ・基幹産業の製品力強化と新しい成長産業創出
- ・研究開発から生産技術までのシームレスな取組
- ・研究開発と産業戦略と知財/標準化戦略とのシナジー効果
- ・オープンイノベーションとグローバルR&Dの推進
- ・人材育成



1. 研究開発と産業競争力について

【持続的イノベーションと破壊的イノベーション】

- ・イノベーションとは発見・発明に基づいて社会や経済を変革する行為
- ・イノベーションには**持続的イノベーション**と**破壊的イノベーション**がある



**2. 大学の研究力強化のための
政策の視点について
【政策への期待】**

【大学の研究と科学技術イノベーション政策】

- 大学の研究と第4期科学技術基本計画との同期
- 日本の産業競争力強化に向けた大学の基礎研究の拡大
- 一定枠のPureサイエンス
- イノベーション創出に向けた活動を拒む規制改革

【大学への様々な支援策・スキーム】

- 各々の支援策の目的・成果の評価基準や
産業競争力への寄与が見えない
(支援策全体の鳥瞰図が必要。多種多様なスキームが錯綜)
- 研究からイノベーション創出までを
一貫して支援する仕組みが必要
(府省連携：文科省、文科省&経産省、経産省他の施策)
- その仕組みの中における
リサーチ・ユニバーシティ
COI (センターオブイノベーション)
などの施策の位置づけの明確化

【研究型大学を構築、評価、運営していく仕組みと戦略】

- 単なる強化ではなく世界のトップランナーを目指す施策
- 政策決定や運営に係る責任あるシンクタンク機能
科学技術政策研究所、研究開発戦略センターの
政策立案能力の向上と活用
- 産業・社会構造改革を牽引する戦略
 - ▶ 国家戦略(産業・社会構造の変革)との整合
 - ▶ 明確なビジョンの構築とそれに合致した運営
 - ▶ 日本の研究全体のポートフォリオのデザイン
Pureサイエンス、目的型基礎研究(短・中・長期)、分野、規模など
 - ▶ オールマイティな大学、特徴ある大学のバランス
 - ▶ 入れ替え戦は効果的
 - ▶ 大学の組織改革の支援
 - ▶ PDCAをまわす仕組みと評価の指標、手法の確立
(新規性、国際競争力、産業競争力、国際連携、知財・標準化他)

**3. 産業競争力向上に資する
大学の研究力強化に向けて
【大学への期待】**

【研究力強化のための大学のデザイン】

- 優秀なリーダーによるプロジェクトの継続的マネジメント
- リーダーの役割、権限、責任の明確化
- プロジェクトの柔軟な見直し
- 産業界のニーズに沿った目的型基礎研究の充実
- 研究力の指標、連携の指標、内部評価の仕組み
(質の高い論文、産業界への貢献、知財・標準化活動他)
(産官学の人材流動化、インターンシップ拡大、企業OB活用他)
- オープンイノベーションの場の構築と活用
- 大学における組織の改革は必須

【研究力のポートフォリオ、産学官のポートフォリオ】

- 産業界・社会のニーズに合致する研究課題のポートフォリオ
- 既存の産業基盤を支える研究と新規産業を生み出す研究
- ナンバーワン指向とオンリーワン指向の研究
- シーズプッシュ型とニーズプル型の研究
- 新技術探索型イノベーションと既存技術統合型イノベーション
(インテグレーションによるイノベーション)